

鉄道技術展・大阪 2026 出展のご案内

株式会社かんこう

インテックス大阪で開催される「鉄道技術展・大阪 2026」に、京阪電気鉄道株式会社と共同で出展いたします。

弊社は、「インフラが好きだ！」を掲げる総合建設コンサルタントとして、空間情報、建設コンサルタント、駅務システム・施設メンテナンスの3つの事業領域から、総合的にインフラを支えています。

空間情報分野では、測量や三次元計測、空間データの整備・活用を通じて、社会インフラの現況把握や維持管理の高度化を支えています。

建設コンサルタント分野では、鉄道をはじめ、道路、橋梁、河川、駅周辺整備、まちづくりなどに関する調査、計画、設計、維持管理に幅広く取り組んでいます。

駅務システム・施設メンテナンス分野では、駅務機器をはじめとする各種設備の保守・点検や運用支援を通じて、鉄道や施設の安定運営を支えています。

これらの幅広い事業を通じて、安全・安心・快適を支える技術とサービスを提供しています。

1. 開催概要

- ・ 日 時：2026年5月 27日（水）10：00～17：00
28日（木）10：00～17：00
29日（金）10：00～16：30
- ・ 会場：インテックス大阪 5号館・Aゾーン
- ・ 出展ブース番号：5H-15
- ・ 開催趣旨：「鉄道技術展」は、鉄道・交通システムやインフラ技術、施設、電力、インテリア、旅客サービスなどの技術が横断的に集う総合見本市です。2010年より幕張メッセで開催されており、大阪での開催は2022年に続き、今回が2回目となります。

2. 出展技術内容

弊社ブースでは、鉄道インフラの維持管理・保全の高度化に向けた技術として、空間計測、外周警戒、AIを活用した点検・損傷抽出、移動体による軌道点検、3Dモデルによる可視化・合意形成支援などを一体的にご紹介します。

これらの技術を連携させることで、鉄道構造物の健全性確保を基盤に、鉄道施設の安全性・信頼性の向上と業務の高度化を実現し、利用者にとって安心できる鉄道インフラの維持管理に貢献します。

⑤ 軌道点検を移動体で効率化する ～画像・レーザによる次世代軌道点検～

キーワード 軌道検測、移動体点検、レーザ、画像、MMS

概要
●インフラ点検を機械化し、効率化とコスト削減へ ●最適な移動体点検手法を提案します。

導入実績

- モノレール点検
 - カメラLEDライト
 - 新交通システム点検
 - モノレールトンネル点検
- 成果
 - 展開図作成
 - 軌道変位や電車線厚さを測定
 - 点群データを取得

効果
●現地作業時間の大幅な短縮(例:従来点検:約半年→移動体点検:4日)
●デジタルデータのため、微小な形状変位・損傷の把握に伴う精度向上

KEIHAN かんこう

⑥ 空間データと3Dモデルで合意形成を支援する ～駅前広場設計と任意断面による土層可視化～

キーワード 3D、駅前広場、合意形成、任意断面、土層可視化

空間データに基づく駅前広場設計
●駅前広場設計を3D化により可視化することで、様々な視点(運転者、歩行者、駅や周辺の施設の利用者等)での検討・確認が可能です。イメージが湧きやすいので、関係機関との**合意形成**が図りやすくなります。

任意断面での土層の可視化
●本取組は、点在する地質データの各点を結合した3D地盤モデルを構築し、2Dでは困難であった「任意断面での土層の可視化」の実現を目指します。

活用メリット: 視認性向上

コスト・工期削減: 支持層のモデル化による最適な仕様提案、現地地質を確認物と合わせた3Dモデルで可視化

課題と対策: 課題 少点データに起因する、土層断面の一部欠損・不整合。対策 地点を絞った実測断面で、補完要素にコスト削減を両立

KEIHAN かんこう

街をはかって。 HAWATTE

まちの持続可能性に貢献

我が国では、インフラの老朽化が進み、維持管理の担い手も減少しています。当社は、「誰でも使いやすいセンシングシステム」の開発を通じて、持続可能なまちづくりに貢献します。

Sustainable infrastructure, made accessible.
User-friendly sensing systems for resilient communities.

In a disaster-prone nation with aging infrastructure and fewer local maintenance workers, advanced yet easy-to-use sensor systems make monitoring more inclusive and effective. They support preventive maintenance and contribute to sustainable community development.

検査を効率化し地方公共団体を支援
橋を測る

シートセンサーを橋梁に貼り付け、歪みや振動、内部の鉄筋腐食を計測。劣化状況を可視化します。2025年度より東近江エリアで実証を開始。インフラメンテナンス業務の効率化を支援します。また、取得データの活用は、行政のEPMにも貢献します。

By attaching sheet sensors to bridges, we can visualize strain, vibration, and internal corrosion - making deterioration easier to detect. From PM2.5, observations will begin in the Hisashi City area, helping reduce inspection workloads, transform expert know-how into measurable data, and strengthen evidence-based policy making (EBPM) for safer, more efficient infrastructure management.

過酷な環境のインフラの管理を支援
道を測る

シートセンサーは、多様なインフラの維持管理にも応用が可能です。過酷な環境に置かれている道路等を連続でセンシングするシステムにより、最新の情報を可視化。インフラ構築物の予防保全に貢献します。

Smarter road maintenance, made proactive.
Sheet-type sensors for traffic infrastructure under harsh conditions.

Our sheet sensors can also be applied to the maintenance of roads and other traffic infrastructure. By enabling smart sensing even in harsh environments, they detect and visualize hidden signs of deterioration, supporting preventive maintenance and ensuring the safety of the infrastructure that underpins daily life.

HAWATTE



以上